

計画策定の経緯と趣旨

- 経緯**
- 平成15年度に「食品安全基本法」で示された行政の役割(食品の安全性の確保に関する施策の策定・実施)を踏まえ、施策を全庁的に推進するため「静岡市食の安全対策推進連絡会」を設置しました。
  - 平成18年度に市が取り組む「食」に関する事業をまとめ、「静岡市食の安全・安心アクションプラン」を初めて策定し、以来、定期的にプランを見直してきました。(現プランの期間は平成31年度～令和4年度)
- 趣旨**
- 食を取り巻く環境の変化に対応するため、これまでの実施状況や課題等を踏まえ、「静岡市食の安全・安心アクションプラン 令和5年度～令和8年度」を策定します。

1. これまでの成果・課題

食の安全・安心に関わる様々な取組みを進めてきました。

I. 食の安全の確保

- 食品施設の立入検査、収去検査の実施、衛生講習会の開催による衛生知識の普及により、衛生上の危害の発生を防止してきた。

<取組み実績 (令和3年度)>

- スーパーマーケット等の食品販売施設の監視指導 (7,853件)
- イベント等の指導 (303件)
- 食品等事業者に対する衛生講習会の実施 (12回、442人参加)
- 輸入食品や広域流通食品等の収去・買上げ検査 (205件)
- HACCPについての事業者等からの相談受付と助言(100%) など



飲食店の立入検査



食中毒予防講習会

II. 食の安心の提供

- 食品のリスクについて、一般市民・メディア・事業者・専門職などを交えた意見交換や市民向けの情報発信を実施してきた。

<取組み実績 (令和3年度)>

- 食の安全教室など(リスクコミュニケーション)の開催 (延べ3,310人参加)
- しずま漁業見学事業 (You Tubeにて動画を公開)
- 「たべしずねっと」食の安全・安心HPの運営 (アクセス数34,205回)
- 「ZRATTO! しずおか」HPによる安全・安心な地場農産物の紹介 (情報発信72回) など



小学校での食の安全教室



しずま漁港見学事業

成果 平成31年度～令和4年度

患者数100名以上の 大規模食中毒の発生件数 0件

概ね計画どおり実施

H31年度～R3年度実績の評価：  
各年度のA評価以上は8割超

H31:55/58、R2:48/57\*、R3:55/56 (7局・3区、18課分)

※R2年度でB評価以下となった事業の大半がコロナの影響。

課題

食中毒の発生件数は下降傾向であるが、依然として0にはなっていない

要因 (食中毒発生時の調査・聞き取りにより考えられたこと)

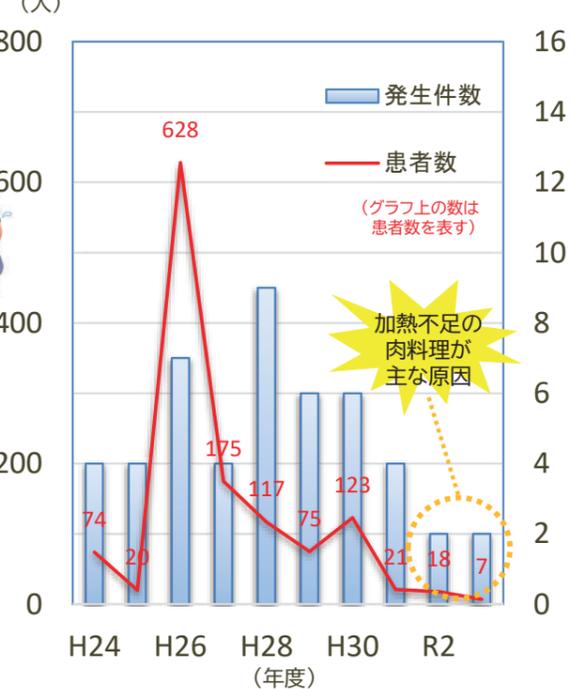
- <事業者> 加熱不足の肉料理の提供  
→ これまで食中毒を起こさなかったことへの過信  
(他の事業者が食中毒を起こした事例や、食中毒までには至らなかった小さな事故の例などを知らず、食中毒が身近に起こり得ることを認識していなかった。)
- <消費者> 生焼けの肉などの提供の要望  
→ 事業者が提供する食品への過信、リスクの高い食品でも自分は食中毒にならないという油断  
(自分は大丈夫であるという意識があった。)

食中毒を減らすためには

事業者の間で過去の食中毒事件の教訓や、食中毒には至らなかった「ヒヤリハット事例」を共有・継承し、大きな事故を防いでいく仕組みが必要ではないか  
(処分権限のある保健所には直接伝えにくい事例 など)  
※1つの重大な事故の裏には多数のヒヤリハットがある(ハインリッヒの法則)…右図

消費者が食中毒を回避する意識、リスクの高い食品や新しい食中毒への対応が必要ではないか  
(加熱不足の肉料理のリスク、イクラにいたアニサキス など)

過去10年間の市内の食中毒発生状況 (件)



加熱不足の肉料理が主な原因

2. 目指す将来の姿

「食の安全・安心を未来へ継承するまち」の実現

- 【食の安全】 消費者、食品関連事業者、行政の三者がそれぞれの役割や責務を果たし、互いに連携・交流することで確保していく。
- 【食の安心】 食の安全を確保したうえで、正しい情報や必要な情報を得られる環境を整えることが、安心感を醸成していく。

患者数100名以上の  
**大規模食中毒の発生件数 0件 の維持**  
人口10万人当たりの食中毒の患者数 **8人以下**  
(患者数100名以上の大規模食中毒を除く) ※H29～31年度の平均10.4人/年



3. 目標達成のための主な施策・指標

I. 食の安全の確保に関する施策	成果指標	参考値(基準値)/年	目標値/年 (R5～8年度)
デパート、スーパーマーケット、流通センター等食品販売施設の監視指導	監視指導計画に基づく食品販売施設の監視指導実施率	96.7% (H30～R3年度平均)	100%
イベント等の指導	イベント出店者への指導件数	275件 (R2～R3年度平均)	300件
食品表示の調査(検査)の実施	表示基準違反率	4.2% (H30～R3年度平均)	4%以下
II. 食の安心の提供に関する施策			
リスクコミュニケーション事業(食の安全教室 ほか)	リスクコミュニケーション事業(各種)への参加人数(合計)	2,570.5人 (R2～3年度平均)	3,000人
食の安全・安心ホームページ「たべしずねっと」の運営	たべしずねっとアクセス数	44,307回 (H30～R3年度平均)	50,000回
食の安全に関する情報の発信	食の安全に関する情報のメルマガ等での発信件数	29.0件 (H30～R3年度平均)	30件

4. 課題に対応するための静岡市独自の新たな取組み

NEW!

- 事業者が気軽に相談できる人材の活用** (事業者向け)
  - 「食品衛生推進員制度※をより積極的に利用)」
  - 「食のヒヤリハット事例」を事業者や市民等から情報収集 → 保健所がまとめて事業者・市民等にフィードバック  
例: 健康被害例や有症状情例を分析・整理し、衛生講習会で情報提供 など
  - アフターコロナ対策(経済活動の再活性化に伴う飲食店等での安全対策)  
例: 従業員のマスク・手袋着用の徹底、利用者増加に対応した衛生対策 など
- 多様なリスク等のわかりやすい情報の発信** (消費者向け)
  - (未来にわたって役立つ知識を消費者目線で発信)
  - 食品衛生の知識を動画でわかりやすく解説 → 3分以内の短編PR動画を「たべしずねっと」上に公開  
例: 「家庭でできる食中毒予防のポイント」、「衛生昆虫を食品につけないようにしましょう」 など
  - 利用者目線から食の安全・安心に係る情報を分類 → 検索しやすくし、広く発信  
例: 小学生→しずま漁港見学事業、高校生等→カラダにeat75、一般 → 食育普及啓発事業、地産地消を学ぶ講座 など

I. 食の安全の確保のための施策（基本方針I-1～I-6）

基本方針	基本的な取組み事項	No.	事業名	担当課	※
I-1 生産、調理、製造、加工段階における食の安全確保を強化します	(1)環境にやさしい農業生産を推進します	1	エコファーマーの推進	農業政策課	
		2	環境保全型農業直接支払交付金	農業政策課	新
	(2)食品の調理、製造、加工段階における監視指導を行います	3	学校給食の食材の安全確保	学校給食課	
		4	市内で調理、製造、加工した食品の製造業者等の監視指導の実施	食品衛生課	
		5	こども園の巡回、指導	こども園課	
		6	イベント等の情報収集、指導（R5年度より情報収集と指導を統合）	食品衛生課	★
		7	事業者が気軽に相談できる人材の活用（食品衛生推進員制度）	食品衛生課	新
	(3)食品の検査を行います	8	市内で生産、調理、製造、加工した食品の収去検査の実施	食品衛生課 環境保健研究所	
	(4)食中毒の未然防止の周知・啓発を行います	9	こども園給食衛生研修会の開催	こども園課	
		10	学校給食衛生研修会の開催	学校給食課	
		11	食品等事業者に対する衛生講習会への講師派遣	食品衛生課	
I-2 流通、販売段階における食の安全確保を強化します	(1)食品の流通、販売段階における監視指導を行います	12	デパート、スーパーマーケット、流通センター等食品販売施設の監視指導の実施	食品衛生課	★
		13	輸入食品や広域流通食品等の収去・買い上げ検査の実施	食品衛生課 環境保健研究所	
	(2)食品の検査を行います	14	いわゆる健康食品の買い上げ検査の実施	生活衛生課 環境保健研究所	
(3)中央卸売市場における食品の安全管理を進めます	15	卸売市場品質管理の高度化の推進	中央卸売市場		
I-3 食品表示の適正化を推進します	(1)食品表示の監視指導を実施します	16	食品販売店、製造業者へ立ち入り時の表示検査	食品衛生課	★
		17	食品表示の合同調査の実施	食品衛生課 生活安全安心課	
		18	不審・疑問表示の調査と広告の改善指導	食品衛生課 生活安全安心課 生活衛生課	
I-4 食品関連事業者の自主衛生管理を進めます	(1)食品関連事業者のHACCPに沿った衛生管理を進めます	19	HACCPについての事業者からの相談受付と助言	食品衛生課	★
	(2)事業者との連携を通して、食の安全確保を進めます	20	食品衛生協会及び各食品衛生組合加盟業者との連携	食品衛生課	
I-5 調査・検査技術の充実を図ります	(1)食品の安全性確保対策の基礎となる調査、検査技術の充実を図ります	21	食品衛生検査施設の業務管理要領（GLP）に則った検査の実施	環境保健研究所	
		22	適切な項目の検討や食の安全を確認する調査の実施	環境保健研究所	
		23	食品衛生監視員の技術向上	食品衛生課	
I-6 危機管理体制を充実させます	(1)危機が発生した場合の被害拡大防止及び再発防止に努めます	24	飲食に起因する危害発生時の、詳細で正確なデータの提供	環境保健研究所	
		25	食品に関する感染症発生時の拡大防止	保健予防課	
		26	市民からの食品衛生に関する苦情・相談の対応	食品衛生課	

II. 食の安心の提供のための施策（基本方針II-1～II-3）

基本方針	基本的な取組み事項	No.	事業名	担当課	※		
II-1 食の安全・安心に関する情報の提供、公開を推進します	(1)生産・流通から消費に至る食の安全・安心に関する情報の収集に努め、提供、公開を推進します	27	市内の食品衛生法違反措置状況について報道関係者への情報提供やホームページへの掲載	食品衛生課			
		28	事業者、消費者に対する食品や飲食危害に関する情報の提供	食品衛生課			
		29	食品表示に関するパンフレットの配布等、情報の提供	生活安全安心課			
		30	特集コーナーを利用した関連図書の展示による知識の普及	中央図書館			
		31	図書館における「食の安全」に関する資料の収集・提供	中央図書館			
		32	食の安全・安心ホームページ「たべしずねっと」の運営	食品衛生課	★		
		33	多様なリスク等のわかりやすい情報の発信	食品衛生課	新		
		II-2 食の安全・安心に関する意見交換を推進します	(1)消費者・生産者・事業者の意見を施策に反映させるよう努めます	34	監視指導計画(案)の公表及び意見の募集	食品衛生課	
				35	静岡市食の安全・安心意見交換会の開催	食品衛生課	
			(2)リスクコミュニケーションを開催し、食の安全・安心について意見交換を進めます	36	生涯学習施設等でのリスクコミュニケーションの開催	食品衛生課 生涯学習推進課 生活衛生課	★
37	フレッシュマタニティ教室での食の安全講座開催	各区健康支援課 食品衛生課	★				
II-3 食の安全に関する教育、啓発を推進します	(1)食の安全に関する知識の普及に努めます	38	食生活改善推進員による地区活動	健康づくり推進課			
		39	食育普及啓発事業	健康づくり推進課			
		40	食育応援団登録制度	健康づくり推進課			
		41	しずおかカラダにeat75	健康づくり推進課			
		5	こども園の巡回、指導(再掲)	こども園課			
		42	食の安全教室の開催	食品衛生課 環境保健研究所	★		
		43	食品表示制度についての消費者向け講習会の開催	食品衛生課			
		44	市内公立小中学校での「食に関する指導」の実施	学校給食課			
		45	食品添加物や細菌などの検査に関する市民講座の開催	環境保健研究所			
		46	お茶の美味しい入れ方教室の開催	農業政策課			
		47	自然体験活動における食育活動の推進	教育総務課			
		48	環境に優しい野外炊飯活動の推進	教育総務課			
		49	食の安全に関する講座の開催	生涯学習推進課			
		(2)生産者、食品事業者、消費者等の交流活動を推進し、生産と消費が身近で「目に見える地産地消」の推進に努めます	50	地産地消を学ぶ講座の開催	生涯学習推進課		
			51	「ZRATTO!しずおか」による情報発信	農業政策課		
52	農業まつりの開催		農業政策課				
53	しずまえ漁業見学事業の実施		水産漁港課				
54	しずまえ新聞の発行		水産漁港課				
55	学校給食における地場産物を取り入れた献立の提供		学校給食課				

YouTube 配信 スタート!

たべしず動画

ここを読み込んでね!



@tabeshizu  
公式チャンネル

たべしずねっと  
静岡市食の安全・安心ホームページ

たべしず 検索



※ ★:重点事業 新:新規掲載事業

やさしいようせい  
N.Y. SALAD

©天野善孝/DML・「N.Y.SALAD」パートナーズ